

〔優良活動部門〕

南部町商工会女性部

所在地 南巨摩郡南部町南部8427-3
 代表者 女性部長 遠藤 洋子
 構成員 16名

(地域の伝統料理や伝統作物、伝統文化を活用した地産地消の活動)

南部町商工会女性部では、町内の既存の食材を使い地元を元気にする手助けをしたいとの思いから、平成22年に地域で古くから栽培されている生姜に着目し加工品の開発に着手した。

平成24年から試作品をつくりはじめ、道の駅とみざわでアンケート調査を実施するほか、生姜料理研究家の意見を聞くなど入念な準備期間を経て、平成25年に生姜ジャム「ジャム de 生姜」を平成27年に生姜シロップ「なんぶ美じんじゃー」をそれぞれ商品化した。産地の利点を活かした収穫したばかりの生姜をふんだんに使った商品は、季節限定・数量限定にもかかわらずたちまち人気商品となり、安定した販売を続けている。毎年11月に実施する道の駅とみざわ特設会場での対面販売は、恒例行事となり、消費者との貴重な交流機会となっている。販売の際には、商品を使ったオリジナルのレシピを配布し好評を得ている。女性部の生姜加工品が人気を集めていることから、町内でも生姜を増産しようという機運も高まっており、生姜を活用した地産地消の取り組みは、着実に成果が出ている。

(地産地消と食育、食農教育を結びつける活動)

女性部の活動が目にとまり、平成30年には、地域の小学校において生姜をテーマにした校外学習が実施された。女性部と生産者が連携し、南部町の生姜栽培の歴史を学んだり、女性部が作った生姜の加工品の試食を行うなど、地産地消と食農教育を結びつける活動となった。この活動は好評で次年度も実施する気運が高まっている。



(生姜の加工の様子)



(道の駅とみざわでの対面販売の様子)

活動経緯	推薦理由 (南部町)
平成22年 生姜加工品の開発に着手 平成25年 生姜ジャムの商品化、販売開始 平成27年 生姜シロップの商品化、販売開始 平成30年 校外学習への参加	南部町商工会女性部は、自ら南部町の活性化に貢献しようと特産品の開発に取り組み、苦勞の末に南部町の古くからの特産品である生姜を加工し、独創的で付加価値のある商品の開発に成功した。 開発に至るまでにも、著名な料理研究家の指導を仰いだり、商品価値を高めるため、ラッピングの専門家に指導を仰ぎ、個性のあるラベルにするなど、その行動力や熱意は他の模範であり、敬服に値するものである。 道の駅とみざわでの対面販売は、町内外の消費者が販売を心待ちにするほどの商品となり、リピーターも増加している。 このように町内外の消費者や町内の生姜生産者との交流を通じて、町の活性化に繋げるという当初の理念を達成し、町としてもこれを高く評価すると共に、今後も継続した活躍が期待される。